

令和元年度 牧之原市立相良小学校 学校評価【自己評価】報告書

学校名：牧之原市立相良小学校 所在地：静岡県牧之原市波津 1642

児童数：523名 学級数：20学級（特支2学級含む）

教育目標：自立 共生 創造

相良小コンピテンシー：〔自立〕自尊感情・判断力・主体性

〔共生〕思いやり・コミュニケーション力・協働力

〔創造〕感性・思考力・問題発見解決能力

自己評価（児童・保護者・教員） 令和元年11月実施

				4	3	2	1	評定 3以上	4 3 2 1			
1	自立	自尊感情	保護者7月	128	224	40	1	89.6%				
			保護者11月	155	289	52	3	89.0%				
			児童7月	186	215	50	20	85.1%				
			児童11月	216	241	54	12	87.4%				
2	自立	判断力	保護者7月	96	200	92	4	75.5%				
			保護者11月	97	299	101	3	79.2%				
			児童7月	190	220	76	28	79.8%				
			児童11月	226	215	74	8	78.2%				
3	自立	主体性	保護者7月	107	207	76	3	79.9%				
			保護者11月	137	276	84	2	82.8%				
			児童7月	217	202	71	19	82.3%				
			児童11月	226	215	74	8	84.3%				
4	共生	思いやり	保護者7月	164	194	28	3	92.0%				
			保護者11月	199	264	37	0	92.6%				
			児童7月	250	209	36	13	90.4%				
			児童11月	272	212	28	11	92.5%				
5		コミュニケーション能力	保護者7月	84	200	103	6	72.3%				
			保護者11月	96	259	136	8	71.1%				
			児童7月	203	185	87	33	76.4%				
			児童11月	173	231	100	19	77.2%				
6	協働力	保護者7月	128	233	26	2	92.8%					
		保護者11月	167	280	52	1	89.4%					
		児童7月	257	186	46	19	87.2%					
		児童11月	272	195	52	4	89.3%					
7	創造	感性	保護者7月	198	156	32	1	91.5%				
			保護者11月	249	202	45	2	90.6%				
			児童7月	304	155	182	23	69.1%				
			児童11月	327	131	50	15	87.6%				
8		思考力	保護者7月	60	190	129	11	64.1%				
			保護者11月	81	233	164	20	63.1%				
			児童7月	151	228	104	24	74.8%				
			児童11月	135	242	119	27	72.1%				
9	問題発見解決能力	保護者7月	45	189	137	11	61.3%					
		保護者11月	68	249	159	20	63.9%					
		児童7月	219	198	72	19	82.1%					
		児童11月	211	206	90	16	79.7%					

10	楽しく学校生活を送っている。	保護者 7月	257	119	9	3	96.9%	
		保護者 11月	297	174	27	0	94.6%	
		児童 7月	347	119	22	21	91.6%	
		児童 11月	345	132	31	15	91.2%	
11	学習したことを理解している。	保護者 7月	97	228	61	7	82.7%	
		保護者 11月	129	268	91	11	79.6%	
		児童 7月	207	228	58	17	85.3%	
		児童 11月	226	237	46	14	88.5%	
12	元気なあいさつができています。	保護者 7月	123	181	75	8	78.6%	
		保護者 11月	155	220	105	17	75.5%	
		児童 7月	245	174	70	20	82.3%	
		児童 11月	239	173	90	21	78.8%	
13	学級はいじめのないクラスである。	保護者 7月	110	236	30	8	90.1%	
		保護者 11月	149	294	45	6	89.7%	
		児童 7月	227	146	78	57	73.4%	
		児童 11月	216	174	98	35	74.6%	

#### 【考察】

「自立」の項目では「自尊感情」、「共生」の項目では「思いやり」「協働力」に関する評価で「できている」「どちらかといえばできている」が合わせておよそ90%でした。「自尊感情」の項目の評価が高かったのは、授業や日常生活の中で家族の皆様や友達から認められることで、子どもたちが自分の良さを自覚しているからだと思われます。また、「思いやり」や「協働力」の項目の評価が高かった理由は、友達と仲良く助け合って生活していくことのよさを、各学年の子どもたちが理解しているからだと思われます。子どもたちは、困っている友達を気にかけてり、よりよく生活するために友達に声をかけたりするなど、気持ちよく仲間と助け合って学校生活を送ろうとしている様子が見られます。

一方で、「創造」の項目では、「思考力」「問題発見・解決能力」の評価が低く、課題が見られました。「思考力」に関しては、筋道を立てて考えたり、理由を付けて説明したりすることに苦手意識を感じている子が多いのが実態です。「思考力」の育成については、算数の授業を中心として取り組んでいます。今後も引き続き手立てをとっていきたいと思います。また、「問題発見・解決能力」については、本年度の重点として、各教育活動において取り組んできましたが、子どもたちが自ら問題や課題を見つけ、解決の方法を考えて実行できるように、引き続き各学年、学級において手立てを明確にして取り組んでいきます。

「学校が楽しい」については90%以上、「学習理解」については80%以上が「できている」「どちらかといえばできている」という評価なので、今後も継続していけるよう、子どもたち一人一人への支援を確実にしてい期待と思います。また、「あいさつ一流」については、どこでも進んであいさつができるように声かけをしていきたいと思

令和元年度 牧之原市立相良小学校 学校関係者評価書

評価者：学校評議員 4 名・地域学校協働委員 3 名

評価日：令和 2 年 2 月 6 日(木)

**1 問題発見・解決力について**

- ・教師は評価が低く、児童は評価が高い。算数の授業を参観していて、数年前は形式的な感じがしたが、今は、担任が替わっても、信頼関係が築けているから、子どもが自然体で、普段の話し方で自然に話し合いができていることがすばらしい。
- ・授業に対する目標を児童がしっかり意識し、それをめざそうとしていることがうかがえる。
- ・授業の中で、教師の出番や支援がきちんとなされており、それが授業の充実につながっている。
- ・教室の学習環境が、しっかりと整えられている。今までの学習の歩みが、教室掲示で振り返ることができるようになってきているから、問題解決にとってもそれが良い支援となっている。
- ・教員が、一人一人の児童をよく見て理解しようとしているからこそ、自然な話し合いができ、問題解決につながっていると思う。

**2 感性について**

- ・感性は、これからの時代、とても大切なものなので、大切に育ててほしい。今の時代、コミュニケーションの基盤になる言語の豊かさや感性が下がっているように思う。そういう物を大切にしていかなければならない。

**3 協働力について**

- ・協働力は、評価が高い。それは、相良小学校は今まで取り組んできたことの成果だと思う。
- ・協働力は高いが、コミュニケーション力が比較的 low、ギャップがある。コミュニケーション力は大事なので、力をつけてほしい。

**4 児童の様子について**

- ・児童は、前向きで、明るい。
- ・いじめのないクラスかという評価結果は、教員は評価が高く、児童はそれに比べて低くなっている。教員が気づいていないいじめがないか、子どもの声に耳を傾け、よく見守ってほしい。
- ・いじめが本当に解消しているのかという目で、子どもたちの様子を注意深く見ていかなければならない。

**5 あいさつ一流について**

- ・登下校で見守り運動をしている際、あいさつをしても帰ってこない子が多い。高学年になるほど、顕著である。
- ・決まった場所でのあいさつはできるが、帰りに出会ったときや決まった場所以外での自然なあいさつができていない。
- ・児童の評価は高く、教師の評価は低いという結果があり、あいさつに関する評価の差が大きい。児童はできているつもりになっている。

**6 そうじ一流について**

- ・黙って、すみずみまで、本当によくそうじをやっている。